

# 決算補足資料（2022年3月期第3四半期）

2022年2月7日 / 株式会社 シグマクシス・ホールディングス（証券コード:6088）



# 2022年3月期第3四半期 決算概況

## サマリー

- 堅調な連結業績で予想値を上方修正、年間配当の予想を修正（増配）。
- コンサルティング事業：企業のDX戦略策定、組織と人財の活性化、新規事業やサービス開発などを支援するプロジェクトが事業を牽引。
- 投資事業：投資先支援、新規投資の実行や資産の売却等、順調に事業展開。重要性が増したため、当四半期よりセグメント別開示。

単位：百万円	2021年3月期 4月～12月	2022年3月期 4月～12月	対前年同期 増減率	2022年3月期 連結業績予想	業績予想 進捗率
連結売上高	10,241	11,303	+10%	16,000	71%
（コンサルティング事業）	10,241 (※1)	11,170 (※2)	+9% (※1)		
（投資事業）	—	256 (※2)	—		
経常利益	1,212	2,080	+72%	2,700	77%
（経常利益率）	12%	18%			
四半期純利益	743	1,269	+71%		
自己資本比率	51%	74%			

※1 当四半期より、「投資事業」の重要性が増したことから、「コンサルティング事業」、「投資事業」の2区分に変更。前年度連結業績をコンサルティング事業業績としたときの参考値

※2 セグメント間の内部売上高等含む

## 2022年3月期 連結業績予想

単位:百万円	2022年3月期 今回修正予想	前回発表 予想からの 増減額	対前期 増減率	2022年3月期 4月～12月実績	進捗率
売上高	16,000	-	14%	11,303	71%
営業利益	2,700	+200	54%	2,084	77%
経常利益	2,700	+200	50%	2,080	77%
親会社株主に 帰属する当期 純利益	1,650	+150	36%	1,269	77%

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済活動の制限等の先行き不透明な状況が続いておりますが、当社グループは、主にコンサルティング事業による営業利益の増加が見込めることにより、前回発表の連結業績予想を上回る見通しとなりました。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

# 配当方針

- 財務体質の強化及び将来の事業展開に備えるために必要な内部留保とのバランスを重視する。
- 安定かつ継続的な配当を行う。
  - 上記基本方針のもと、株主の皆様へ一層の利益還元を図るため、直近の配当予想より1株当たり2円増配し1株当たり26円を予定

(注)上記の配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって変動する可能性があります。

# 2022年3月期第3四半期 連結損益計算書

単位:百万円	2021年3月期 (4月～12月)	2022年3月期 (4月～12月)	前年同期比		主な増減
			増減額	増減率	
売上高	10,241	11,303	+1,061	+10%	売上原価の減少により増加
売上総利益	3,989	5,219	+1,229	+31%	
販管費	2,820	3,134	+313	+11%	
営業利益	1,168	2,084	+916	+78%	売上高の増加及び売上原価の減少により増加
経常利益	1,212	2,080	+867	+72%	
税金等調整前 四半期純利益	1,359	2,080	+720	+53%	
四半期純利益	743	1,269	+525	+71%	

## 2022年3月期第3四半期 セグメント別業績 概況

単位:百万円	2021年3月期 (4月～12月)	2022年3月期 (4月～12月)	前年同期比	
			増減額	増減率
連結売上高	10,241	11,303	+1,061	+10%
(コンサルティング事業)	10,241 (※1)	11,170	+928 (※1)	+9% (※1)
(投資事業)	—	256	—	—
(内部取引)	—	▲123	—	—
セグメント利益	—	3,269	—	—
(コンサルティング事業)	—	3,173	—	—
(投資事業)	—	95	—	—
売上高セグメント利益率	—	29%	—	—
(コンサルティング事業)	—	28%	—	—
(投資事業)	—	37%	—	—

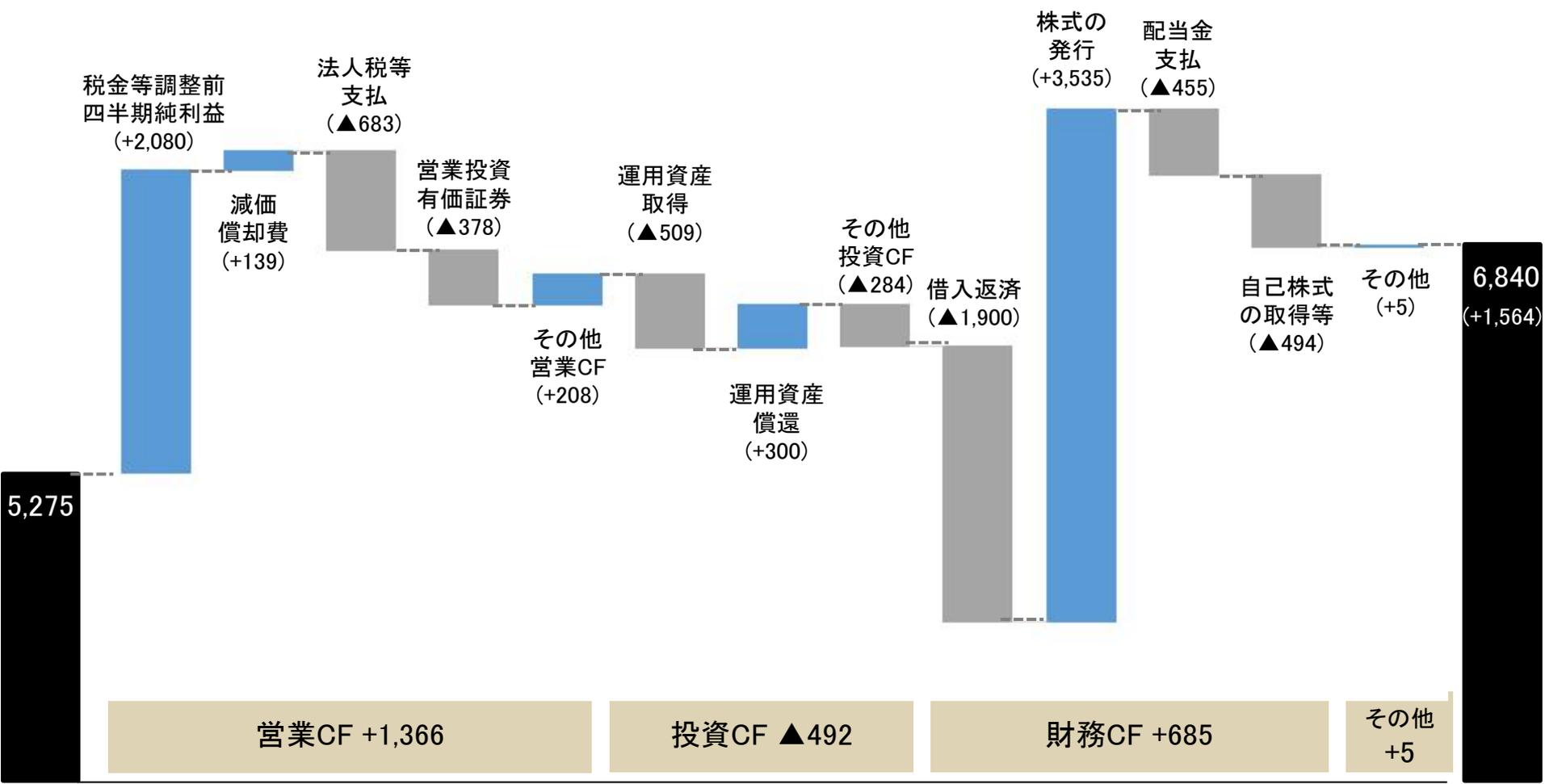
※1 当四半期より、「投資事業」の重要性が増したことから、「コンサルティング事業」、「投資事業」の2区分に変更。前年度連結業績をコンサルティング事業業績としたときの参考値

## 2022年3月期第3四半期 連結貸借対照表

単位:百万円	2021年 3月期末	2022年 3月期 3Q末	対前期末	主な増減
流動資産	8,015	10,591	+2,575	・現金及び預金、営業投資有価証券の増加
現金及び預金等	5,275	6,840	+1,564	
固定資産	2,267	2,460	+192	
資産合計	10,283	13,052	+2,768	
流動負債	3,239	2,090	▲1,148	・借入の返済、未払法人税等の増加
固定負債	1,581	1,324	▲256	
負債合計	4,821	3,415	▲1,405	
純資産	5,462	9,636	+4,174	・第三者割当増資による増加
自己資本比率	53%	74%		

# 連結キャッシュフローの推移

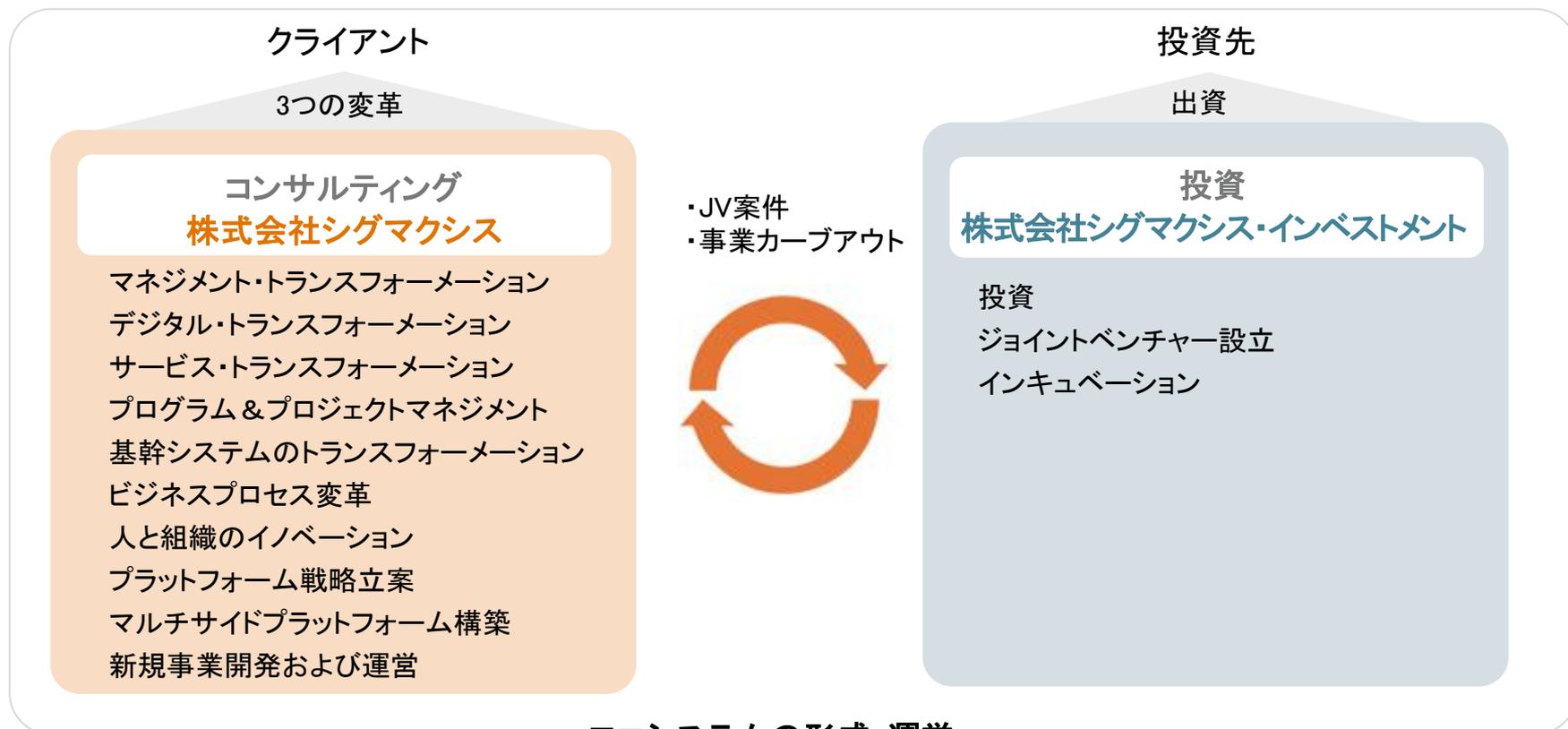
(単位:百万円)



2021年度 期首 2021年 12月末

## シグマクシス・グループの事業

- 「コンサルティングサービス」と「投資」を事業の軸とし、グループ各社が有するネットワーク力を生かしながら、幅広い産業および企業における価値創造、社会課題を解決する新たな市場の創出を行う。
- コンサルティング事業では、事業戦略立案、業務変革、デジタルテクノロジー、クラウドソリューション、プロジェクトマネジメントおよび新規事業開発のプロフェッショナルを揃え、新しい価値の創造を支援。
- 投資事業では、高度なデジタル技術の活用や、「まちづくり」「食・健康」など、複数の産業をつなぐ領域の投資案件を中心に手掛け、コンサルとの連携で投資先企業の成長および企業価値向上を支援。



# AI Integration & Deployment(AID)プログラム

企業における最適なAI適用領域や、実行すべき施策、想定効果を明確化し、AI導入のための実現可能な計画を策定、実行までを支援し、AIによるビジネス競争力の獲得を実現。

当プログラムでは、プランニング、社内外の活用データ/分析基盤整備、データ解析の高度化・高速化、AI・ディープラーニングソリューションの選定および導入、エッジ・コンピューティングの推進といった、AI導入の全レイヤーをカバー。経験豊富なプロフェッショナルが、AIを活用したビジネス変革をエンド・トゥ・エンドでサポート。

詳細: <https://www.sigmaxyz.com/sx/business/aid/>

## お客様事例

中古カメラの価格改定自動化支援(AIMD)  
シュッピン株式会社

**SYUPPIN®**

シュッピン株式会社の中古カメラ事業にて、販売・買取価格改定をAIを活用して自動化するダイナミックプライシング(AIMD)の実現をご支援。

同社はAIMDの導入により価格改定の回数を6倍に増加させ、人的作業の削減とタイムリーな価格改定を実現。さらには価格変更に伴う顧客への通知メールが増えたことから、商機に繋がる顧客接点も増加。これにより、同事業の収益率は大幅に向上。



記事画像出所: 日経クロステック

<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/00001/06276/>

## MaaSの社会実装に向けた実証実験への参画

近畿経済産業局が大阪商工会議所、株式会社ADKマーケティング・ソリューションズなどと共に実施する「MaaSの社会実装に向けた消費者の行動変容に関する実証実験」に実施主体企業として参画。



たんと繁盛

©大阪商工会議所



2025年の大阪・関西万博を控える大阪市中心部の集客回復と混雑回避の両立を目指し、対象地域のアパレル・交通事業者等と連携して、都市ピーク時間帯の通知や時間帯別のインセンティブ付与によるピークシフトの効果を検証。実験期間は2021年12月～2022年1月。

シグマクスは、本実証実験のシナリオ作成や提供サービスのUXの設計、参画企業の招へい、専用アプリの開発等を支援。

代表団体	大阪商工会議所、 (株)ADKマーケティング・ソリューションズ
参加団体	(株)アーバンリサーチ、 エイチ・ツー・オーリテイリング(株)、 大阪ガス(株)、大阪市高速電気軌道(株)、 京阪ホールディングス(株)、 (株)シグマクス、(株)竹中工務店、 (株)ドコモ・バイクシェア、阪急阪神不動産 (株)、(株)りそな銀行、(株)Luup
協力自治体	大阪府、大阪市

出展：大阪商工会議所 プレスリリース

### 関連リンク：

- 大阪商工会議所 MaaSの実証実験支援 第2弾 消費者の行動変容による、都市中心部の集客回復と密回避の両立を目指す実証実験を、規模（エリア・店舗）を拡大して実施！ [https://www.osaka.cci.or.jp/Chousa\\_Kenkyuu\\_Iken/press/20211216maas.pdf](https://www.osaka.cci.or.jp/Chousa_Kenkyuu_Iken/press/20211216maas.pdf)
- ADKマーケティング・ソリューションズ、経済産業省「地域新MaaS創出推進事業」のプロジェクトにおいて大都市の課題である混雑回避と集客の両立を目指した消費者の変容に関する実証実験を、規模を拡大して実施 <https://www.adk.jp/news/105673/>

# 株式会社シグマクシス・インベストメント: 投資事業

投資事業のバリューアップのため、各種事業への投資、コンサルティングサービスとの連携を通じてジョイントベンチャーの設立等を推進する100%子会社「株式会社シグマクシス・インベストメント」を2021年4月に設立。複数の産業をつなぐ投資案件を中心に、コンサルティング事業との連携で投資先企業の成長および企業価値向上を支援。

2022年3月期においては、伊藤忠商事のネットワークを通じて第2四半期にウェルネス・コミュニケーションズ株式会社に5%出資。第3四半期に株式会社プログリットに出資。

## 投資領域

地球資源を賢く活かしながら、人々の暮らしを豊かにする領域  
(リジェネラティブ&ウェルビーイング)

## 投資先

## 提携先

 GHELIA

ギリア株式会社

 Creww  
大挑戦時代をつくる。

Creww株式会社

Monstarlab ::

株式会社モンスター・ラボ

2022年3月期 新規投資

 ウェルネス・コミュニケーションズ  
Wellness Communications  
ウェルネス・コミュニケーションズ株式会社

 PROGRIT

株式会社プログリット

SX Capital

Invest in wonder

株式会社SXキャピタル

startbahn

 Empath

 Housmart

FERMENTATION  
Co., Ltd.  
Fermenting & Renewable Society

株式会社  
ドレバー

 WELMO  
WELMO

 bluememe  
MODEL 9 DESIGN YOUR BUSINESS

 Fresco

フレスコキャピタル

[www.sigmaxyz.com/sxi/](http://www.sigmaxyz.com/sxi/)

# 新たなまちづくりで東急株式会社と協働

東急株式会社と、多摩田園都市エリアにおける、生活者起点の新たなまちづくりに向けた取組み(nexus構想)の推進に関する基本協定書を締結。シグマクシス・グループの各社が連携し、東急と共同で本構想の実現に向けた活動を推進していく。

シグマクシス・グループは本構想において、最適なプレイヤーを集め連携を推進する「アグリゲーター」としての役割を担う。本構想の深化と改善に加え、本構想に共感し参画する行政や多様な企業(バディ)の招へい、バディ間の連携促進によるコンソーシアムの形成、本構想の理解促進に向けた勉強会の開催、実証実験および事業化の計画・実行支援、広報活動に取り組む。

実証実験および事業化においては、必要に応じてコンサルティングサービスの提供や投資による支援も行う。

## 「nexus(ネクサス)構想」

郊外における生活者起点での自由で豊かな暮らしを実現するために、住む・学ぶ・働く・遊ぶといった生活が自然や農と融合した「歩きたくなるまち」を目指す取り組み。

多摩田園都市(田園都市線梶が谷駅~中央林間駅)エリアのうち、横浜市青葉区・川崎市宮前区周辺を対象エリアとしてnexus構想を開始する。2022年4月、川崎市・横浜市の市境近辺にある虹ヶ丘団地・すすき野団地エリアに「nexusチャレンジパーク」を開業予定。



### 関連リンク

- シグマクシス・ホールディングス プレスリリース  
[https://www.sigmaxyz.com/release\\_20220119/](https://www.sigmaxyz.com/release_20220119/)
- 東急プレスリリース  
<https://www.tokyu.co.jp/company/news/List/Pid=20220119-1.html>

# 日本の上場会社初、「B Corporation認証」を取得

シグマクシス・グループの事業および活動に対し、「B Corporation(Bコーポレーション)認証」を取得。

78カ国において約4,500社が本認証を取得しており、当社グループの認証取得は、日本企業としては8社目、日本に本社を置く上場会社グループとしては初。(2022年1月時点)

## B Corporation認証とは

環境や社会への配慮、経営の透明性、事業の持続可能性などにおいて優れた、公益性の高い企業を認証する制度。本認証の取得には、ガバナンス、コミュニティ、従業員、環境、顧客の5つの領域において、米国の非営利団体B Labが定める評価指標に基づいた評価で、80ポイント以上を獲得することが要件。



### 関連リンク

- ・シグマクシス・ホールディングス ニュース  
<https://www.sigmaxyz.com/news/>
- ・B Corporation ウェブサイト  
<https://www.bcorporation.net/>

## 重要業績評価指標 (KPI)

	2021年3月期 (4月～12月)	2022年3月期 (4月～12月)	対前年同期比
従業員数	561	565	+1%
(コンサルタント数)	(491)	(485)	(▲1%)
プロジェクト満足度(NSI*)	94	93	▲1pt
プロジェクト数 **	802	760	▲5%
クライアント数 ***	194	157	▲19%
契約あたり売上(百万円)	12.7	14.9	+17%

\* NSI(Net Satisfaction Index): プロジェクト満足度評価における全10問、五段階評価結果の平均点。クライアントのプロジェクトオーナーにアンケート形式で実施。五段階評価は、5:大変そう思う 100点、4: そう思う 75点、3:どちらとも言えない 50点、2: そう思わない 25点、1:全くそう思わない 0点で配点。

\*\* プロジェクト数: 連結累計期間を通じて売上が計上されたプロジェクトを契約単位で集計。

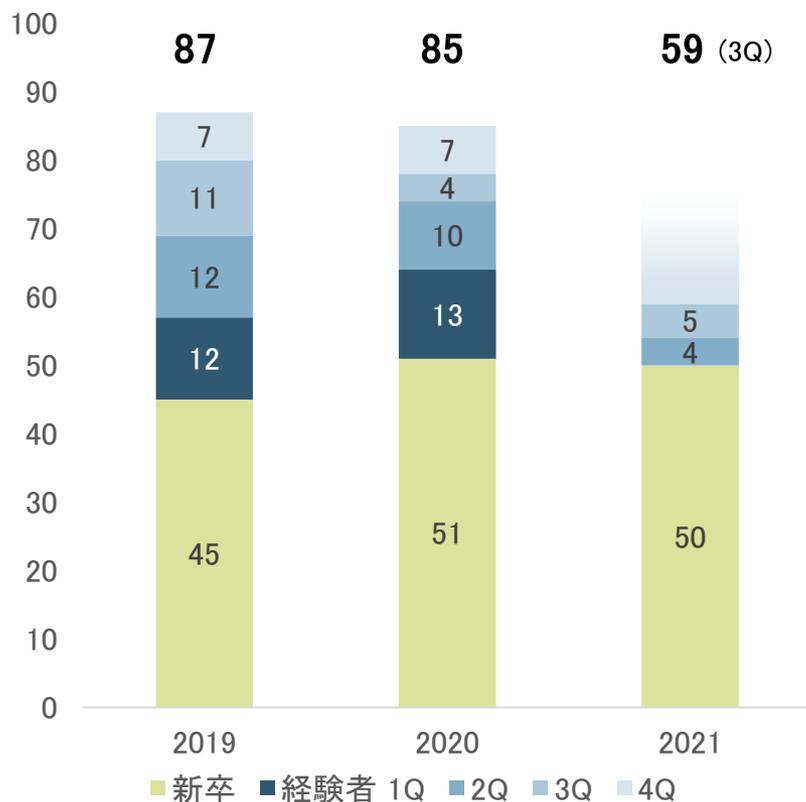
\*\*\* クライアント数: 連結累計期間を通じて売上が計上されたプロジェクトのクライアントを法人単位で名寄せして集計。

## 採用活動

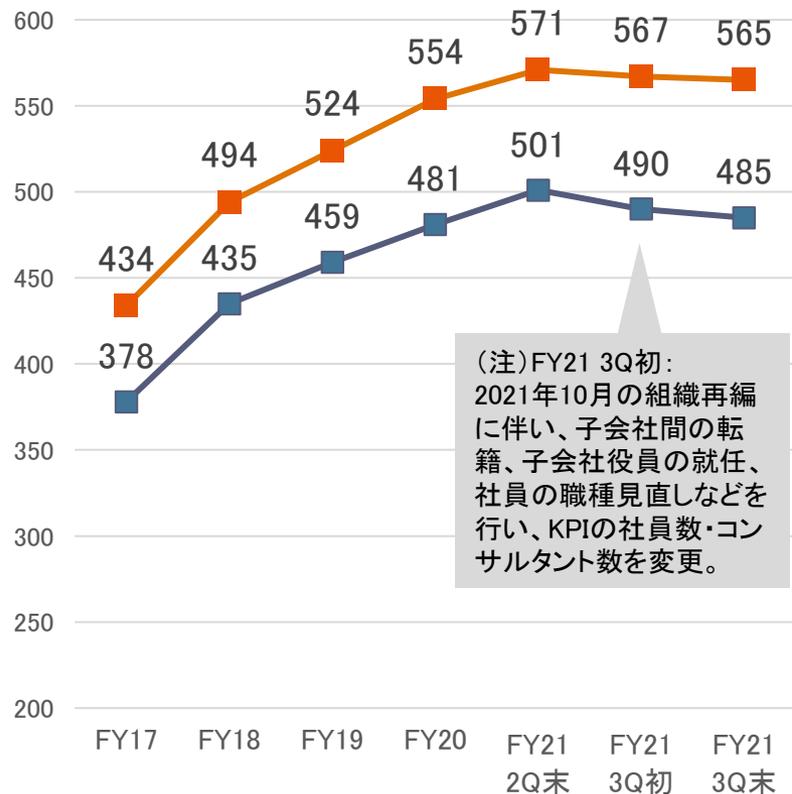
2021年4月に新卒50名が入社。10月から稼働開始。経験者採用については、高品質の人財採用に向けた新卒・経験者採用マーケット向けの施策を強化。

年間採用人数(コンサルタント)

単位:人



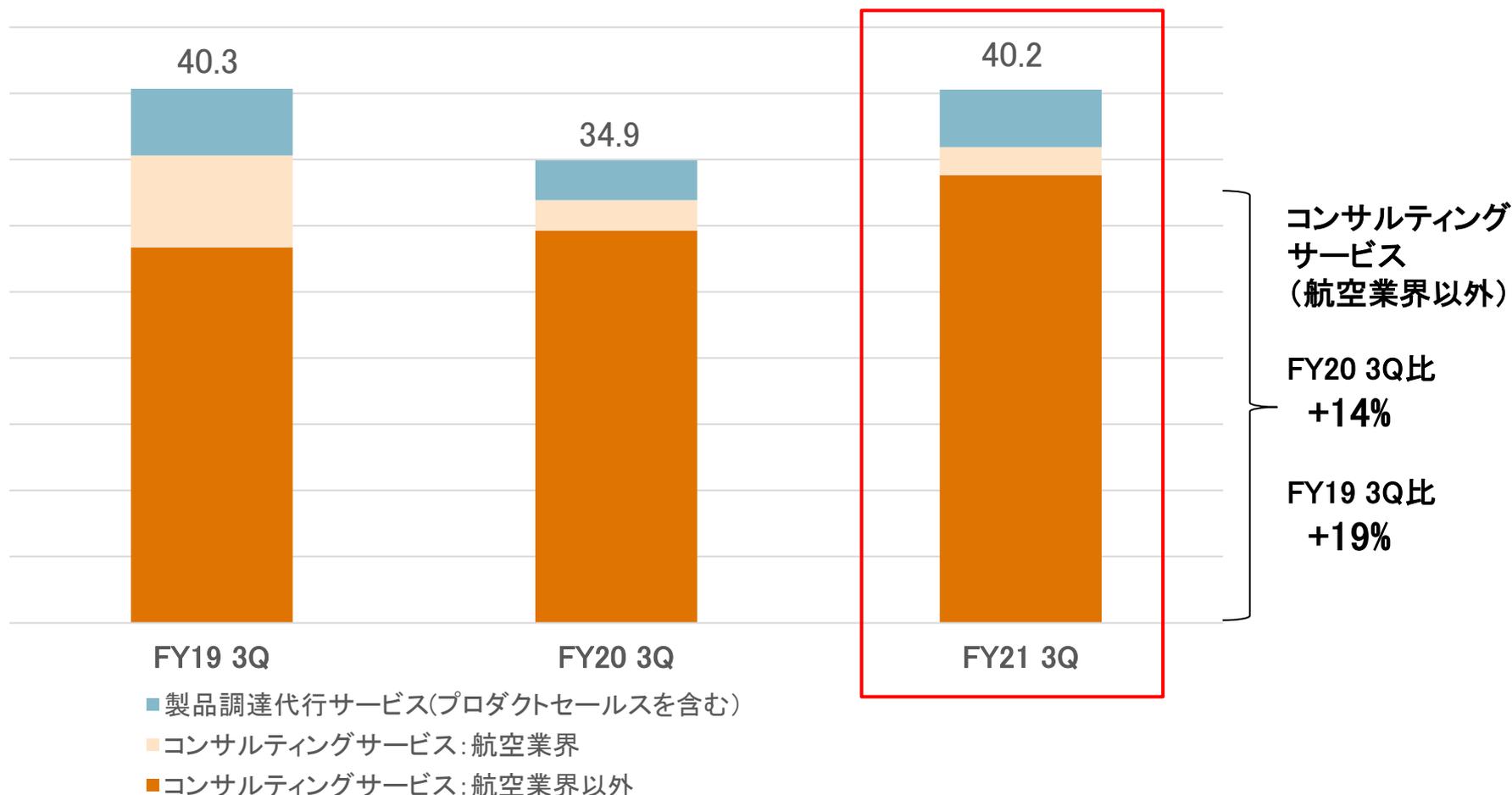
グループ社員数・コンサルタント数



## (参考)カテゴリ別売上高

航空業界向けコンサルティングサービスが売上に占める比率の最適化、ならびに製品調達代行サービスの戦略的縮小など、ビジネスポートフォリオの再構築が過去2年で堅調に進捗。

(単位:億円)



# (参考)決算補足資料の音声解説

決算発表当日の18時に、本資料の音声解説を弊社ウェブサイトIRページに掲載いたします。



IR情報

[www.sigmaxyz.com/ir/](http://www.sigmaxyz.com/ir/)



## 本資料の取り扱いについて

本資料は、シグマクシス・グループの事業および業界動向に加えて、現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確実性がつきまっています。すでに知られたもしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社シグマクシス・ホールディングスは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、本資料作成時点において利用可能な情報に基づいて、株式会社シグマクシス・ホールディングスによりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

URL: [www.sigmaxyz.com](http://www.sigmaxyz.com)

問い合わせ先: [sigmaxyz\\_ir@sigmaxyz.com](mailto:sigmaxyz_ir@sigmaxyz.com)

